

ローラー ハイパーブレーキシステム

- ブレーキ本体: BR-IM35-F / BR-IM35
- ハブ本体: SG-3R35 / FH-IM35 / FH-IM10
- レバー: ST-3S35 / BL-IM35 / ST-MJ10 / BL-TY70-S
- ブレーキケーブル: シマノハイパーケーブル

ご使用になる前に、この取扱い説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

使用上の注意

- シマノハイパーローラーブレーキの性能を最大限に発揮させるため、必ずシマノブレーキケーブルとブレーキレバーをセットでご使用ください。



上記以外のものは、ブレーキ性能が悪くなりブレーキが効かなくなる場合があります。

- ブレーキアームが、アームクリップでチェーンステーにしっかりと固定されていることを確認してください。取付け不良は、ブレーキ性能が悪くなります。

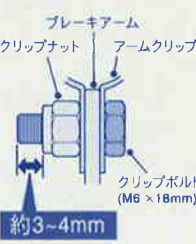


ブレーキアームに無理な力を加えると、車輪の回転が重くなります。取付けのときは、充分注意してください。

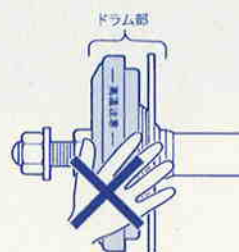
- アームクリップを取付けるときは、クリップナットを10mmスパナで固定し、クリップボルトを確実に締付けてください。

締付トルク:
2~3Nm (20~30kgfcm)

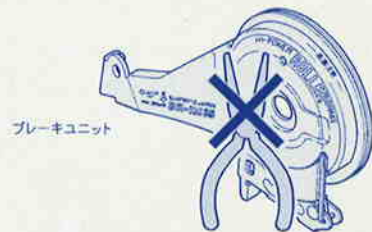
- アームクリップを取付けた後、クリップボルトがクリップナットの端面から約3~4mm出ていることを確認してください。



- ブレーキをひんばんに使用した場合、ドラム部が高温になる場合があります。走行後しばらく(30分位)は、ドラム部に手をふれないよう注意してください。



- ハイパーローラーブレーキは、従来のバンドブレーキと異なり、ドラム内部にグリスが封入されているため、タイヤ回転がわずか重たくなっています。(特に冬期)
- ブレーキグリスが不足すると、音鳴りがしたり、異常に急ブレーキがかかったりします。このような場合は、早目にローラーブレーキ専用グリスを補給してください。
- ブレーキケーブルがさびると、ブレーキの効が悪くなります。効が悪くなった時は、新しいシマノ純正ブレーキケーブルと交換し、再度ブレーキの効を確認してください。
- FH-IM10(外装6段)を大人用のスポーツ車に使用する場合は、フィン付ハイパーローラーブレーキ「BR-IM35-F」をおすすめします。
- BR-IM35-FまたはBR-IM35の、ブレーキユニットは分解できません。分解するとトラブルや故障の原因になります。



製品仕様

●ブレーキ本体

	BR-IM35-F (フィン付)	BR-IM35 (フィン無)
重 量	512g	491g
最大外径	φ90mm	φ82mm

●ハブ本体

	SG-3R35 (内装3段)	FH-IM35 (シングル)	FH-IM10 (外装6段)
重 量	1,105g (ギア/ペルクランク付)	535g (ギア付)	457g (カセットギア別)
軸 長	177.6mm	180mm	
玉 押 間 隔	120mm	124 / 126mm	
取付ギア歯数	14T ~ 21T		
適用チェーン	1/2" × 1/8"	1/2" × 3/32"	
適用スポーク	#13 / #14		
スポーク穴数	28H / 36H		
ギ ア 比	速 1:1.33 平 1:1 軽 1:0.75		

●ブレーキレバー

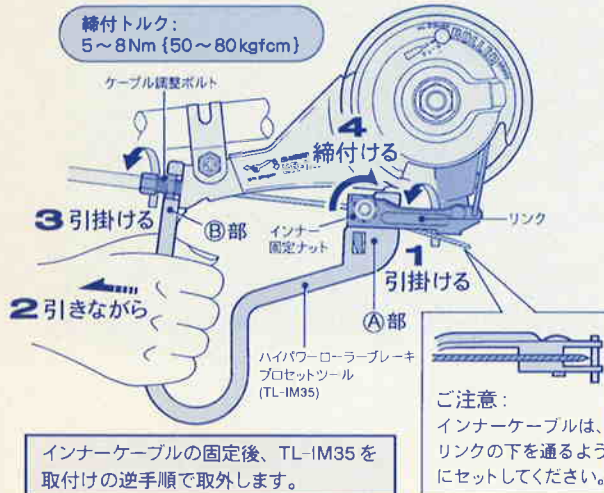
	BL-IM35	BL-TY70-S
重 量	100g (片側のみ)	119g (片側のみ)
取付パイプ径	φ22.2mm	

●ラピッドファイヤーレバー

	ST-3S35	ST-MJ10
重 量	200g (右側のみ)	339g (ペア)
取付パイプ径	φ22.2mm	φ19.1mm
変 速 数	3段	6段

ブレーキケーブルの取付け

- ケーブル調整ボルトをブレーキアームの端面から15~18mmの位置にセットします。
- ブレーキレバーを握り、インナーエンドをブレーキレバーのエンド引掛け部に入れ、インナーケーブルをブラケットカバーの溝にセットします。
- インナーケーブルをブレーキアームのケーブル調整ボルトから、インナー固定ボルトの穴に通します。
- アウターケーシングの両端が、ブレーキレバー側のアウター受け部とブレーキアーム側のケーブル調整ボルトに確実に納まっていることを確認します。
- 別売りのハイパーローラーブレーキプロセットツール(TL-IM35)を使用し、TL-IM35の④部をリンクに引掛け、TL-IM35をケーブル調整ボルト側に引きながら、⑤部をケーブル調整ボルトにセットします。この状態でインナー固定ナットを締付けます。なお、TL-IM35がなくても取付けられますが、TL-IM35を使用すると、効率よくセッティングができます。

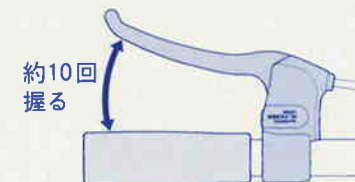


インナーケーブルの固定後、TL-IM35を取付けの逆手順で取外します。

ご注意:
インナーケーブルは、リンクの下を通るようにセットしてください。

ブレーキケーブルの調整

- ケーブルが張りきみで、車輪の回転が重くなっていることを確認したあと、ブレーキレバーをグリップに付くまで、約10回ほど握り、ケーブルをなじませます。



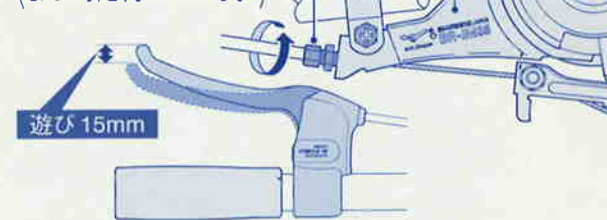
ご注意:
ケーブルがなじんでいないと、短時間で再度、ブレーキの調整が必要になります。

- ブレーキケーブルの調整方法には、下記のように再調整時の場合と、ブレーキユニットが新品時の場合の調整方法があります。

再調整時の場合

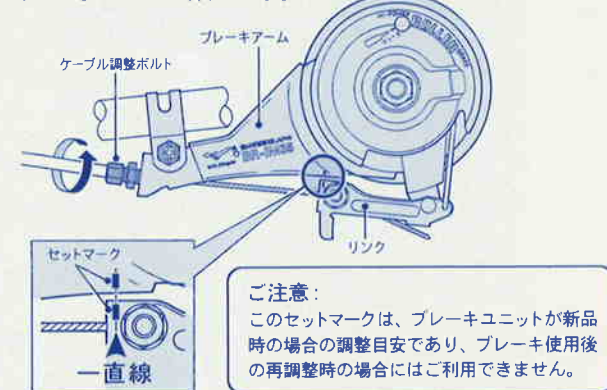
ケーブル調整ボルトを回して、ブレーキレバーの遊びが15mmになるように調整します。

ブレーキレバーの遊びとは、レバーを操作していない状態から、レバーを少し引いていくと、急に重くなる所までの引き代のことです。



ブレーキユニットが新品時の場合

ケーブル調整ボルトを回して、ブレーキアームのセットマークと、リンクのセットマークを合わせます。



ご注意:
このセットマークは、ブレーキユニットが新品時の場合の調整目安であり、ブレーキ使用後の再調整時にはご利用できません。

- ブレーキレバーを握り、ブレーキの効を確認したあと、ケーブル調整ナットでケーブル調整ボルトを固定します。



この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車及びシマノ製自転車部品以外に関するご質問は、ご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをおすすめいたします。



●製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎(0722) 43-2829

この取扱い説明書は再生紙を使用しています。

株式会社 シマノ
大阪府堺市老松町 3-7-7